




令和 2 年 度

事業計画書

社会福祉法人 洛南福社会

総施設長	施設長	施設長
		

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
管理職

【令和2年度 方針】

法人理念を念頭におき、全職員がご利用者の笑顔を引き出せるために思考していく。

私達が自らの存在意義を理解し、法人全体が社会資源である自覚を忘れない。職場環境を整え、職場やチーム、そして全職員が自分自身の魅力に気付けるよう新たな取り組みに挑戦していく。

【重点目標】

1. 人材の確保、育成

- ・人材不足解消のため、全職員がポジティブかつ先進的な仕事ができるように役職者の指導の管理を行う。
- ・全職員が各目標達成のため、常に基本に立ち返えるよう指導する。
- ・新たな人材確保の形を常に思考することで、次年度の入職者獲得に繋げる。
- ・研修などで得た知識を現場のサービスに活かせるよう指導する。

2. 未来につながる事業運営

- ・認知症ケアについて法人全体が目標を設定して新たな取り組みを行う。
- ・法人の成長につながる新たな事業やイベントを発案する。
- ・ご利用者の過去を尊重し、終の棲家としての役割について検討する。

3. 地域の安心の拠点となる活動

- ・サービスのレベルを高めるために、現在のサービス内容の分析及び修正を行う。
- ・地元地域のなくてはならない社会資源として、与えられたサービス枠を可能な限り活用し、地元地域に還元していく。
- ・地域のニーズを把握するために、地域の様々なイベント及び会合に積極的
する。

令和 2 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム ヴィラ向島

【令和2年度 方針】

「ヴィラ向島で生き生きとしている」を目指して、ご利用者・ご家族が納得できるサービスを追求する。昨年度から取り組んでいる今まで考えなかった、行わなかった事に深みを持たせ「こんなことも施設で出来た」と感じてもらえるヴィラ向島になる。

【重点目標】

1、自由な発想

- ・「こんな事も出来る」が日常的になることを目指し、昨年度より導入した班制度を精査し、継続して実施する。
- ・「老人ホーム」という枠に捉われ過ぎず、その人らしさとは何か専門的に考える。
- ・限られた時間を有効活用し利用者ではなく、時には人生の先輩として教えてもらいながら、一緒に過ごせる時間を共に楽しむ。

2、地域との交流

- ・地域とのつながりを深め、身近にある施設となるよう施設内外のイベントの参加及び、呼び掛けを積極的に行い交流していく。

3、食生活の充実

- ・今まで人気だった献立を中心に、旬の食材や季節を感じられる食事を提供する。
- ・面前での提供をすることで、食欲増進を図る。

4、専門知識の向上

- ・体位変換クッションを購入したことに満足せず、「ポジショニング」について正しい知識を習得し実施する。
- そして、ご利用者の拘縮の進行及び褥瘡の発生予防に努め、安楽な生活を提供する。

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島 ショートステイ

【令和2年度 方針】

ショートステイサービスを利用する方の幅広いニーズに対応できる事業所となる。

利用することの満足度を高める為に、今まで行っていなかった新たな取り組みに挑戦する。

【重点目標】

1. ご利用者ニーズへの対応

ショートステイご利用者の日程変更やキャンセルに対応する為、追加利用を希望されているご利用者への空き情報の発信、キャンセル待ちに対して特養入院者のベッドの空き情報の提供を行う。

2. サービスの質の向上

ご利用者、ご家族より普段の生活の様子や自宅の環境に関する情報を集め、委員会やカンファレンスを通して発信を行い、他職種と連携しながら過ごしやすい環境作りを行う。

3. 行事の充実

- ・ご利用者に楽しく利用して頂けるよう、季節の外出行事（花見・紅葉等）の立案・実行を行う。
- ・ご家族に行事の参加を促し、一緒に楽しんで頂く。

4. 食事の充実

ご利用者の一つの楽しみでもある食事について、面前調理などの提供を行う。

令和2年度 事業計画

社会法人 洛南福祉会
ヴィラ向島 総務部

【 令和2年度 方針 】

介護人材の安定確保の為に、実習生の積極的採用・求人媒体への掲載・学生や求職者への支援制度を提案し、採用活動の活性化に繋げる。また、各所属長とのコミュニケーションの充実を図り、利用者の生活環境・職場環境の改善を進めていきます。

洛南福祉会全16会計の内、向島拠点10会計の収支について、毎月の収支を精査することで適正な利益の確保に努めます(介護保険請求業務・人件費・事業費・事務費の精査)。

【重点目標】

人材確保

1. 実習生の採用に向け、実習担当者・所属長と協力し、成果を上げます。
2. 学生の就職活動の傾向を捉え、必要な媒体に求人を掲載し採用に繋がります。
3. 介護人材を確保する為の支援制度の提案に努めます。

施設整備

1. 入居者・利用者には生活しやすい・サービスを利用しやすい環境の提供に努めます。同時に職員の就業環境にも配慮します。

会計分析

1. 介護報酬収入・利用者負担金収入と、人件費支出・事業費支出・事務費支出の収支を把握し、適切な利益の確保に努めます。
2. 半期決算を行い、予算の達成を目指します。

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島デイサービスセンター

【令和2年度 方針】

ご利用者の満足とは何かを常に考え、従来の介護サービスのイメージに縛られない発想、思考と試行を目指す。職員の自由な発想・アイデアを実現化し、さらなるサービスの質の向上や、ご利用者に満足いただけるサービスを提供することを目指す。

自宅から通い、介護サービスを受けることに対して付加価値をつけ継続性のある取り組みを行い「また行きたい、次はどうなっているか」と楽しみ続けられるサービス提供に努める。

【重点目標】

1. 専門職としての技術、知識の習得

- ①多様な要介護者を受け入れることができるように、法人内介護ランク制度・基礎ランクの全員合格と C ランク合格者を輩出し部署での介護技術の底上げを図る。
- ②農園作業等、継続性のあるサービスで認知症対応や身体機能の維持に努める。
- ③介護サービス、高齢者対応の既成概念にとらわれず自由な発想でご利用者を支援する。

2. 事業運営の安定化

- ①ご利用者、ご家族の声を聞きニーズの実現化を図り、利用しやすい事業所を目指す。
- ②地域の居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、多数の事業所に出向き顔なじみの関係を構築しサービス連携・関係強化を図り利用率、稼働率に繋げる。
- ③昨年度から実施した農園作業、漫画コーナーの設置、入浴室の環境改善、フロア環境の充実・修繕個所の点検・維持を継続し新規利用者の獲得やリピーターの確保を目指し登録数の増加・稼働率に繋げる。

3. 人材育成及び人材確保

- ①実習生の受け入れについて実習プログラムの充実と養成校との関係強化を図るため、実習担当者の育成と実習生受け入れの人数を増やす。
- ②昨年度に引き続き実習後の研鑽の場としてアルバイトを受け入れる。実習、アルバイトを通じて法人の人材確保に繋げる。

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
元源 深草

【 令和2年度 方針 】

- 1: 法人理念を意識し、ご利用者にとって心地よい「居場所」となるようサービスを提供する。
- 2: 新規開設後1年6か月経ち、地域住民・関係機関との連携が充実しつつあり、更なる関係強化に努める。
- 3: ご利用者・家族、地域のニーズに合わせた通所サービスを提供し、安定的な事業運営を行う。

【 重点目標 】

1. ご利用者にとっての「楽しみ」を追求する
 - ① ご利用者のニーズを聞きながら、お楽しみ企画を計画・検討し実践する。
2. 地域連携の維持・拡大
 - ① 地域ケア会議・運営推進会議等で事業所の活動をアピールするとともに、地域に開かれたデイサービスを目指す。
 - ② 地域住民や学校、保育園との交流を行う。
 - ③ 地域のボランティアの受け入れを行う。
3. 稼働率90%以上を目標に、新規ご利用者獲得を目指す
 - ① 施設内外の研修や部署内での勉強会に積極的に参加する。
 - ② 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などの関係機関との連携を積極的に図る。
 - ③ ご利用者に安心してご利用頂けるよう、日々の関わりを大切にし、職員間で情報収集及びアセスメント力の向上を図る。

年間行事計画

9月	敬老会
12月	クリスマス会
1月	正月イベント
※毎月のお楽しみ企画 ・変わり湯の日（1日・10日・26日） 地域のボランティア様協力によるイベント プチ軽食の提供	

研修・勉強会

法令研修	・褥瘡予防について
	・事故予防について（2回）
	・高齢者虐待について
	・身体拘束について（2回）
感染対策研修	・手洗い
	・食中毒
	・インフルエンザ
	・ノロウィルス・レジオネラ
	・流行している感染症
部署勉強会	・介護技術
	・認知症について

令和2年度 事業計画

社会福祉法人洛南福祉会
ヴィラ向島居宅介護支援事業所

【令和2年度 方針】

当居宅介護支援事業所は、御利用者に対し、介護保険法の趣旨と法人理念に則り、御利用者が可能な限り居宅において自立した生活を営むことができるよう適切な居宅サービス計画（以下、ケアプラン）を作成します。

行政や地域包括支援センター、医療機関、居宅サービス事業所、民生委員等との連携により、御利用者が住み慣れた地域で生活できるよう支援します。

【重点目標】

1. 居宅介護支援運営基準を遵守
2. 各御利用者の個別性に対応した適切なケアプラン作成を実施。
 - ・専門職としての倫理を保持し、ご利用者の考えや価値観を尊重します。
 - ・管理者と職員で協議したうえで個別の研修プログラムを策定し、資質向上に努めます。
 - ・第三者評価を受診しサービスの向上に努めます。
3. 経営の安定化
 - ・介護支援専門員1名あたり月35件のケアプラン作成を実施します。
 - ・主任介護支援専門員資格取得を積極的に促し、1名以上の主任介護支援専門員及び3名以上の介護支援専門員の人員体制を継続し特定事業所加算Ⅱの算定を継続します。
4. 地域包括ケア推進のため、向島地域包括支援センター、行政、各居宅サービス事業所等の社会資源と連携
 - ・地域の活動に積極的に参加します。
5. 防災意識を高め、災害発生時に備える
 - ・地域の防災活動と連携していきます。
6. 働きやすい職場環境づくり
 - ・管理者も含め職員同士で意見交換ができる雰囲気づくりに努めます。
 - ・勤務時間内で業務が完了できるよう業務の効率化を図ります。

令和2年度 事業計画

社会福祉法人洛南福祉会
ケアプランセンターあかつき

【方針】

御利用者に対し、介護保険法の趣旨と法人理念に則り、御利用者が要介護状態であっても住み慣れた御自宅、地域で自立した生活を営むことができるよう、適切な居宅サービス計画（ケアプラン）を作成します。

新規開設後1年6ヶ月が経過し、藤城学区のみならず深草全域、桃山町全域、醍醐支所管内全域に至るまで、地域住民、関係機関との連携が充実しつつあり、更なる関係強化に努めて参ります。

【重点目標】

1. 当事業所介護支援専門員に対し、個別具体的な研修プログラムを策定し、各御利用者の個性に応じた適切なケアプラン作成を実施します。
2. 居宅介護支援運営基準を遵守します。
3. 経営の安定化を継続していきます。
 - ・介護支援専門員1名あたり、月30～35件の介護報酬請求を維持します。
 - ・特定事業所加算Ⅱの算定を維持します。
4. 地域包括ケア推進を図ります。
 - ・藤城学区においては、近隣住民、京都市深草南部地域包括支援センターが中心となって実施している地域活動に、もれなく参加します。
 - ・深草全域、桃山町全域、醍醐支所管内全域の地域包括支援センターや、医療機関からの新規御利用者も受け入れていきます。

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ヘルパーステーション ヴィラ向島
ヘルパーステーション ヴィラ観月橋

【令和2年度 方針】

福祉業界全体として人材不足であり、特に訪問介護事業に関しては資格必須であることやヘルパーの高齢化に伴い、事業所閉鎖を余儀なくされているのが現状である。訪問介護は在宅生活を継続するうえで、重要な役割を持っているため、行政とも連携を図り、資格取得への取り組みや魅力を発信することで人材を確保していく。

【重点目標】

① 人材の確保、育成

- ・就職フェアの参加や市老協ホームヘルプ部会からヘルパーの魅力を発信し、新たな人材を確保する。
- ・多様な働き方に対応することで、長期的に働ける人材を確保する。
- ・将来的なサービス提供責任者を育成するため、他部署と連携を図り、積極的に実習生を受け入れる。
- ・定期的なヒアリングを行うことで、職員ひとり一人が成長するために必要環境を整える。

② 職員の資質向上

- ・介護保険制度の下サービスを提供していることを常に意識し、ケアプランに則した支援を行う。
- ・月1回のヘルパー会議にて、各事業所で個別検討を行うことで、職員ひとり一人がアセスメント能力を身に付ける。
- ・全ての職員が介護に関して知る努力、身に付ける努力を行なうため、実践を含めた研修を行っていく。

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ケアハウス サウスヴィレッジ向島

【令和2年度 方針】

洛南福祉会の「共に生き、笑顔で支えあう暮らしづくり」という法人理念に基づき活動する。

『入居者が地域交流できるきっかけと環境づくり』と『安心で快適な住まいの提供』に努める。

【重点目標】

1. 災害等に対する取り組み
 - ・入居者と共に実践的な防災・災害訓練を実施する。
 - ・災害マニュアルを整備する。
2. 地域交流
 - ・すこやかサロン等、地域行事への参加を継続する。
 - ・地域の方に参加して頂ける行事を企画し地域交流を図る。
3. 入居者確保の為の広報活動の実施
 - ・ホームページやSNS等を活用し施設の情報を発信する。
 - ・自立度の高い入居者を確保する為の取り組みを実施すると共に施設検索サイト等を利用し確実に入居者を確保する。
4. 職員研修
 - ・入居者の立場に立って支援が出来ているかの振り返りと、より良いサービスを提供する為に、認知症についてや人権・尊厳について学ぶ。
5. 第三者評価受診
 - ・第三者評価を受診し日頃の業務を振り返る機会にする。

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム レーベン横大路

【 令和2年度 方針 】

法人理念を具現化するために、ご入居者の個性を尊重し、その方の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで安心できる生活環境を作り、その人らしい生活が送れるように関わりを持つ。

地域密着型特別養護老人ホームとして、地域に存在する社会資源との共働の機会を増やし、地域福祉発展への貢献度を高める。

【 重点目標 】

1. 稼働率の安定化

- ① 早期に体調の変化に気付けるよう、嘱託医及び医療機関との連携を図りつつ、状態観察や受診による体調管理を行い、入院を最小限にとどめる。
- ② 入居待機者の情報収集を計画的に行うことで、退居と入居までの空床期間を短くする。
- ③ 年間平均稼働率 96%以上を目指す。

2. サービスの質の向上

- ① ご入居者の健康状態に合わせ、心身機能の低下を予防することでこれまでの生活を継続できるように援助を行う。
- ② ご入居者、ご家族と共に、日常生活の中にある「喜び」とは何かを考え、実現していくことでご入居者・ご家族の満足度を高める。
- ③ 健康状態や生活背景にあるご入居者の「やりたいこと」「できること」に焦点を当て、日頃の様子や専門職としての情報をチームで共有し、安定したケアが行えるように努める。

3. 人材の確保、育成、定着

- ① 実習受け入れを通して、人材の確保、実習指導者のスキルアップに努める。
- ② 新人職員の個々人に合わせた育成計画のシステムを構築し、指導育成のスキルアップを目指す。
- ③ 職員が安心して働き続けられる職場作りに努め、人材育成の取り組みや研修等を通じて職員の資質向上を図る。

4. 地域との連携

- ① 2ヶ月毎に運営推進会議を開催し、地域住民に開かれた施設づくりを目指す。
- ② 地域交流のチームを作り、組織的・計画的に横大路保育園や横大路児童館との交流を図り、地域社会の一員として地域福祉の増進に寄与する。

令和2年度 年間行事計画

月	行事名	備考
4月	春の風物詩	
5月	端午の節句	
6月	<u>ユニット企画</u>	
7月	七夕	保育園交流
8月	夏の風物詩	
9月	① 敬老祝賀会 ② <u>レーベン横大路祭り</u>	
10月	① 区民運動会参加 ② 児童館ハロウィン	①②地域行事
11月	秋の風物詩	
12月	① 冬至(ゆず湯)② <u>クリスマス</u> ③新年準備④もちつき	④保育園交流
1月	お正月・初詣	
2月	節分	
3月	① ひな祭り ② <u>ふれあいのつどい参加</u>	②地域行事
その他	お誕生日会(該当月) おやつ作り(月1回程度)	

* 下線が引いてあるものは、ご利用者の実費負担となります。

令和2年度 研修・勉強会(案)

感染対策研修 ・手洗い
・食中毒
・インフルエンザ、レジオネラ
・ノロウイルス
・流行している感染症
褥瘡予防について
事故予防について(2回)
高齢者虐待について
身体拘束について(2回)
ユニットケアについて

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路ショートステイ

【 令和2年度 方針 】

法人理念を具現化するために、ご利用者の個性を尊重し、その方の能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで、場所が変わっても安心して生活できる環境を作り、在宅生活としての時間が送れるように関わりを持つ。

地域密着型特別養護老人ホームに併設しているショートステイのサービスであることを理解し、地域を意識したサービスを提供する。

【 重点目標 】

1. 稼働率の安定化

- ① 居宅介護支援事業所との関係作りを継続し、地域やご利用者の情報の把握に努め、新規、定期でのご利用者の獲得に努める。
- ② ご利用者の入院等、利用のキャンセルに対する情報を早期に把握し、予定の変更に対して、居宅介護支援事業所に空室状況を提供する。
- ③ 新規の居宅介護支援事業所を開拓し、新規ご利用者の獲得に努める。
- ④ 年間平均稼働率 94%以上を目指す。

2. サービスの質の向上

- ① サービス担当者会議やご家族とのやりとりの中で、在宅サービスの理解を深め、ご利用者およびご家族が求めているサービスを提供、必要な情報を的確に介護支援専門員やご家族に伝え、信頼度の向上に努める。
- ② 自宅での様子、施設での様子をご利用者・ご家族と情報共有を行い、生活の場所が変わっても安心して過ごすことができるよう環境を整え、利用に対しての満足度向上に努める。
- ③ おやつ作りや外出行事を積極的に行い、他者との交流を深め普段と違う刺激を与える事に、ショートステイ利用中ならでの楽しみを提供する。
- ④ 認知症や中重度の介護を必要とされているご利用者に対応ができるよう、外部研修や法人介護ランク制度を活用し、介護技術や知識を身につける。

3. 介護保険サービス事業所との連携強化

- ① 居宅介護事業所を始め、特に在宅サービス提供事業所と情報交換を行い、関係性を構築することで、在宅サービスとしての役割を果たす。
- ② 担当者会議や外部会議へ積極的に参加することで、事業所の知名度を上げる。

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
レーベン横大路 総務部

【令和2年度 方針】

今年度は、従来の介護職員処遇改善加算と新設の特定処遇改善加算があり職員確保に向けて手当を改善するの必要になってくる為、収支を明確にする。人材については、就職フェアへの参加をはじめ、技能実習生（ベトナム）の受け入れを行い不足解消に努めてまいります。ヴィラ向島総務と連携して上記達成を目指す。

【重点目標】

(1) 会計の分析

1. 毎月の稼働率を意識し、人件費支出・事務費支出・事業費支出の収支を把握し、安定した施設運営に努める。
2. 半期決算を行い、事業計画の進捗状況を確認する。

(2) 人材確保

1. 福祉系専門学校の実習生を受け入れる予定であり実習を通して新規採用を目指す。
2. 1名の技能実習生を受け入るにあたり生活環境を整える。
3. 人材不足の折には速やかに人員補充ができるよう紹介会社派遣会社との関係を築く。

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路 デイサービスセンター

【令和2年度 方針】

- 1: 常に法人理念を意識し、ご利用者にとって居心地のよい「居場所」となるようサービスを提供する。
- 2: ご利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていただく為に、各サービス事業所・地域の関係者との連携に努める。
- 3: ご利用者・ご家族・地域のニーズに合わせた通所サービスを提供し、安定的な事業運営を行う。

【重点目標】

1. ご利用者の「声」を大切に
 - ① ご利用者ひとりひとりの「声」を大切にしながら、ご利用者がワクワクしていただけるような行事やイベントの計画・実施に努める。
 - ② 職員の知識・技術の向上
認知症や多様なケースが対応できるよう、外部研修への参加や法人介護ランク制度を活用し介護技術や知識を身につけ実践に活かす。
2. 地域連携の維持・拡大
 - ① 地域の活動に積極的に参加し、事業所のアピールをするとともに、地域に開かれたデイサービスを目指す。
 - ② 地域のこども園や学校との交流やボランティアの受け入れを積極的に行う。
3. 定員枠上限までを目標に利用者獲得と運営の安定
 - ① 関係事業所との情報共有・連携を図り、定員枠上限までの登録維持に努める。
 - ② 年間平均 93%以上を目標に稼働の安定を目指す。
4. 人材育成及び人材確保
 - ① 実習の受け入れ・養成校との関係強化を図り、実習やアルバイトを通じ法人の人材確保につなげる。
 - ② 学生にとって充実した実習の為に実習指導者のスキルアップ向上を目指す。
 - ③ 職員が意見交換しやすい雰囲気づくりや機会を持ち、働き続けられる職場づくりに努める。

年間行事計画

4月	お花見
7月	七夕交流会
9月	敬老祝賀会 ・ レーベン祭
12月	クリスマス会 ・ もちつき
3月	作品展 ・ ひな祭り交流
<p>※毎月のお楽しみ企画をイベントとして実施します。</p> <p>食事：面前提供(月2～3回)</p> <p>お楽しみ企画：花の会(毎月15日)</p> <p style="padding-left: 20px;">絵ごころ教室(毎月2回 月曜日)</p> <p style="padding-left: 20px;">パンの日(毎月第2・3火曜日)</p> <p style="padding-left: 20px;">ハンドマッサージ(月1回)</p> <p style="padding-left: 20px;">コンビニ外出</p> <p>横大路子ども園との交流(7月：七夕 12月：もちつき 3月：ひな祭)</p> <p>ボランティア様協力によるイベント</p>	

研修・勉強会(案)

法令研修	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防について ・事故予防について(2回) ・高齢者虐待について ・身体拘束について(2回)
感染対策研修	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い ・食中毒 ・インフルエンザ ・ノロウイルス・レジオネラ ・流行している感染症
部署勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術 ・認知症について

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
元 源

【 令和2年度 方針 】

- 1：法人理念を意識し、ご利用者、職員の「関わり」を大切にしたサービスを提供する。
- 2：ご利用者が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けて頂くために、他の居宅サービス事業者・地域の関係者との連携に努める。
- 3：ご利用者・家族、地域のニーズに合わせた通所サービスを提供し、安定的な事業運営を行う。

【 重点目標 】

1. 自分を大事にし、相手も尊重する（アサーティブコミュニケーション）の意識
 - ① 人と関わることの楽しさや心地よさを自然に感じる事の出来る空間をつくる。
 - ② 施設内外の研修や部署内での勉強会の計画・実施。
介護技術面の底上げの為に、法人内介護ランク制度のCランク合格を目指し、基礎からより高い介護技術を身につける。
2. 地域連携の維持・拡大
 - ① 地域ケア会議・運営推進会議等で事業所の活動をアピールするとともに、地域に開かれたデイサービスを目指す。
 - ② 地域のボランティアの受け入れや、学校、こども園との交流を広げる。
3. 事業運営の安定
 - ① 法人内外の居宅介護支援事業所等の関係施設と連携を深め、毎月の営業活動に力を入れ、稼働率の向上に努める。
 - ② 定員枠上限までの登録維持と稼働93%以上を目指す。

行事・イベント計画

9月	敬老のお祝い
12月	クリスマスイベント
1月	新年イベント

他、企画として花楽の会・和菓子の日・パン販売・皆勤賞の実施・季節風呂・変わり湯など

研修・勉強会(案)

法令研修	・褥瘡予防について
	・事故予防について(2回)
	・高齢者虐待について
	・身体拘束について(2回)
感染対策研修	・手洗い
	・食中毒
	・インフルエンザ・レジオネラ
	・ノロウイルス
	・流行している感染症

令和2年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路居宅介護支援事業所

【 令和2年度 方針 】

法人理念「共に生き 笑顔で支えあう 暮らしづくり」を念頭に、法令を遵守し、ご利用者やご家族、地域の方々、関係機関の信頼が得られるよう職員同士が協力し、業務に取り組みます。

【 重点目標 】

1. 尊厳と法令遵守

- ① 管理者による自主的な点検を行い、法令を遵守します。
- ② ご利用者の意向や権利を尊重した援助計画を策定します。
- ③ 「職務倫理」を常に意識し、業務に取り組みます。

2. 運営の向上と専門性の向上

- ① 職員1人あたり稼働35件を目指します。
- ② 職員の個人目標に応じた内外の研修に参加し、部署内で情報を共有します。
- ③ 第三者評価を受診した際のアドバイスを元に満足度調査項目を見直し、また、苦情台帳を分析するなどして客観的視点を取り入れます。

3. 地域貢献への取り組み

- ① 地域住民や他機関とのネットワークづくりに努めます。
- ② 職種や法人を超えた連携に努めます。
- ③ 地域包括ケア推進に取り組みます。

4. 防災意識を持ち、災害発生に備える

- ① 防災訓練やマニュアル理解に努めます。
- ② 情報管理方法の再確認や行動計画の策定など発災に備えます。
- ③ 担当ご利用者への注意喚起に取り組みます。

5. 働きやすい職場環境づくり

- ① 意見交換がしやすい職場の風土づくりに努めます。
- ② 時間内の業務遂行に努めます。
- ③ 有給休暇取得奨励、職員のリフレッシュにも積極的に取り組みます。

令和2年度事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
京都市向島地域包括支援センター

【令和2年度 方針】

法人理念である『共に生き、笑顔で支えあう暮らしづくり』を念頭に置き、『地域包括ケアシステム』の構築を目指します。具体的には、本年度の事業目的を「認知症独居高齢者を主とした高齢者の支援のネットワーク構築」とし、各関係機関と地域活動を展開します。

【重点目標】

(1) 総合相談支援業務

○職員の資質向上を図り、ワンストップサービスが提供できるように取り組みます。

(2) 権利擁護業務

○当事業所で構築しているネットワークを最大限に活用し、個別ケースの実態把握・課題抽出を進め、必要なサービスに関する情報提供などの積極的な初期相談に対応します。

○権利擁護の観点から支援が必要な方への対応や高齢者虐待の早期発見や予防啓発に取り組みます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

○居宅の介護支援専門員やサービス事業所等からの日常的相談対応や支援困難事例への協力など、個々の事例に応じて後方支援に努めます。

(4) 介護予防ケアマネジメント

○地域の高齢者が自発的に身体的・精神的・社会的機能の維持・向上に取り組み、一貫性・継続性ある地域支援事業と予防給付マネジメントを展開し、介護予防マネジメント体制の確立に取り組みます。

○地域の関係者とともに普及啓発活動に努めます。

(5) 全戸訪問事業

○独居高齢者へのアプローチを計画的に取り組み実態把握に努めます。また、昨年度同様、向島全域を消防署、地域組織との同行訪問も実施し、独居高齢者だけでなく、高齢者世帯の把握にも努めます。

(6) 各関係機関との連携業務事業

○地域に住む高齢者の方々が地域の社会資源が有効活用できるようスムーズな連携の確保“顔の見える関係づくり”を目標に各種関係者と更なる関係構築に努めます。